

東京国公だより

東京国家公務員・独立行政法人労働組合共闘会議 2024年4月28日 63-049

メール アドレス uematsu@tk-kokko.org 東京国公 HP <http://tk-kokko.org/>



働くものの団結で生活と権利を守り、
平和と民主主義、中立の日本をめざそう

- 今すぐ最低賃金を1500円以上に! 全国一律最賃制へ法改正を
- 物価上昇を上回る大幅賃上げを
- 過労死をなくそう
- ジェンダー平等へあらゆる性差別をなくそう
- いのちと暮らしをまもる社会に
- 紙の保険証とマイナンバーカードの一本化にNO!
- 社会保障の拡充を
- 年金の引き下げにNO!
- 原発ゼロ! 再生可能エネルギーへ転換を
- 食料自給率UP! 学校給食を無償に
- 能登半島地震の被災者支援を
- 日本政府は核兵器禁止条約の批准を
- ロシアはウクライナ侵略やめる、パレスチナの即時停戦を!
- 大軍拡・大増税NO! 憲法を変える動きにNO!
- 市民と野党の共闘で岸田政権を退陣させよう! 力をあわせて政治を変えよう

2024年5月1日(水) 代々木公園 開場▶9:00 開会▶10:00

パレード▶11:20

メーデーチャンネル
視聴はここから



参加したくても、お仕事の関係で難しい方が多いと思います。参加される方のお仕事をその日はみんなでサポート、これが全員参加型の労組活動です!

今年はまだに生活防衛メーデー
全職場からメーデー参加代表者を送りましょう!
物価高騰抑制、実質賃金引上げ、時給1500円以上の全国一律最賃
制度の確立、命と暮らしを守る社会保障の拡充、軍事費を削って暮らしをまもれ、年金引き下げNO!、ジェンダー平等の社会を

改めて…メーデーとは？

メーデーは、1886年5月1日、アメリカの労働組合が1日八時間の労働制を要求してストライキ・デモ行進を行ったことが起源といわれています。当時は12～14時間労働が当たり前でした。このため、アメリカの労働者は「第1の8時間は仕事のために、第2の8時間は休息のために、そして残りの8時間は、おれたちの好きなことのために」という「8時間労働の歌」を歌いながらたたかい、8時間労働制をかちとりました。

しかし、運動の中心地だったシカゴでは5月4日、ヘイマーケット広場に集まったストライキ参加者を武装警官が襲い、多数の死傷者が出たのをきっかけに、経営者の側は、時間労働の約束をほごにします。

そこで、労働者側は、ふたたびゼネストでたたかうことを決め、世界に共同行動を呼びかけます。これにこたえて、全世界の労働組合・民主主義者、自由主義者、社会主義運動家らがこの日を「法律で8時間労働日を決めるよう要求する国際デモンストレーションの日とする」と決定し、1890年に各国で第1回メーデーが実施されます。

日本では、1920年5月2日（日曜日）、上野公園で5千人(1万人との説も)が参加したのが最初です。集会では「(ストライキ等を弾圧した)治安警察法17条撤廃、失業の防止、最低賃金制の確立」を決議しました。8時間労働制、東京市電争議支援、シベリア即時撤兵の動議を可決しています。

その後、戦前のメーデーは1935年の第16回まで各地でとりくまれましたが、36年の2・26事件で戒厳令が敷かれたのを機に禁止されました。戦後は、46年の第17回メーデーから復活。東京では“人民広場”とよばれた皇居前広場に約50万人が集まり「民主人民政府の樹立」「食える賃金を」などを決議しました。

なお皇居前広場のメーデー使用は、サンフランシスコ講和条約発効直後の52年の「血のメーデー」事件後、占領軍指示で使用禁止とされ、東京地裁は違法としますが、政府が控訴し、禁止に固執したため、会場はその後、明治神宮外苑・代々木公園に移されるなどの経緯があります。

その後メーデーはナショナルセンターの枠を越え、実施されてきましたが、1989年以降は統一メーデーの開催ができなくなり、日本労働組合総連合会（連合）と全国労働組合総連合（全労連）や全国労働組合連絡協議会（全労協）による分裂開催となりました。なお連合は2001年以降は4月の最終土曜日もしくは昭和の日（水・木・金曜日に当たる場合）といった「4月（April）にメーデー（May Day）」を行うようになりました。全労連や全労協のメーデーは5月1日開催を続けておきます。

東京国公はこの分裂と対立の構図は解消されるべきと考えており、一致する要求での開催を訴えてきています。なお現実の参加は統一メーデーを主張する全労連のメーデー集會に参加しています。